



第28回

人間らしく働くための 九州セミナー in くまもと

家族的責任を自分らしく果たす権利と健康

寝顔じゃなくて、
笑顔に会おう

2017年11月

25日(土)

全体会 / 13:30~18:00

会場：東海大学熊本キャンパス

記念講演 講師 斎藤 周氏
(群馬大学教育学部教授)

パネルディスカッション

26日(日)

9:00~13:00

会場：東海大学熊本キャンパス

学習講演

特別分科会(予定)

分科会

参加費

2日参加：¥3,500

1日参加：¥2,000

学生(学生票)：¥1,000

交流会参加費：¥5,000

人間らしく働くための九州セミナー in くまもと現地実行委員会

後援 熊本県・熊本労働局 協力 東海大学九州キャンパス 〒862-0954 熊本市中央区神水 1-20-15-102 Tel.096-340-0057 fax.096-340-0058
E-mail:kumasemi28@gmail.com URL <http://kyusemi.jp/>



第28回人間らしく働くための 九州セミナーinくまもと

《 人間らしく働くための九州セミナーとは 》

我が国の働く人びとをめぐる情勢はいっそう厳しさを増しており、雇用破壊、健康破壊、貧困が進行し、今日のように深刻な状況をもたらすに至っています。こうした労働環境が悪化する中で、働く人びとの命と健康を守るための学習・交流の場として、1990年に「労災職業病九州セミナー 人間らしく働くために」を開催し、今年で28年の歴史を重ねてきました。2010年からは、新たな発展をめざして「人間らしく働くための九州セミナー」に改称し、九州各地の組織や労働組合などの団体、専門家と連携し、「人間らしく働くための」運動を育んできました。

《 今回の基本コンセプト 》

今回の基本コンセプトは、ILOも掲げている「家族的責任を自分らしく果たす権利と健康～寝顔じゃなくて、笑顔に会おう～」です。政府は「働き方改革」の議論をすすめる中で、電通の過労自死事件などの痛ましい事件が相次いでいるにも関わらず、月80時間、年960時間もの時間外労働を容認する、いわば過労死を合法化するような労働基準法の「改正」を実施しようとしています。貧困と格差にあえぐ非正規労働者がいる一方で、過労死してしまうほどの長時間労働にさらされる正規労働者がいる日本の現状の中で、「8時間働いたら家に帰る、残りの時間は休息や親しい人たちと過ごすことがあたり前」の世の中に変えていくために、どのようなことが必要であるかを議論していきます。

【演題募集】 ※以下のテーマで演題を募集しています。

- ◆ 大災害被災地の中で働く人びとの健康権
- ◆ ひとり親世帯の働く環境について
- ◆ 働く女性の健康
- ◆ 親の働き方と子どもの貧困
- ◆ 格差社会がもたらす貧困と健康
- ◆ 働きながら介護を行っている人びとの健康権
- ◆ ブラックバイトの問題
- ◆ 学校、職場、地域で働くルールを学ぶ
- ◆ 非正規雇用と健康
- ◆ 過労死問題と働き方改革からの課題
- ◆ 職場でのいじめとハラスメント
- ◆ 病気になった労働者の休む権利・職場に復帰し働く権利
- ◆ 自営業・中小零細業者の健康
- ◆ 公務労働者の労働実態と健康
- ◆ 職場での労働安全衛生活動
- ◆ 労働者のメンタルヘルスについて
- ◆ 24時間社会・深夜労働と健康
- ◆ ヒューマンサービス労働者の健康
- ◆ 医療・介護・福祉の現場から見た労働者の健康
- ◆ アスベスト問題
- ◆ じん肺・振動病など
- ◆ 外国人労働者の労働環境と健康
- ◆ 原発労働者の健康

労働実態や日頃の取り組みをご応募下さい。

エントリー締め切り 10月 9日(月)

原稿締め切り 10月23日(月)